

MZK-USBSV

ユーザーズ・マニュアル

User's Manual Version : MZK-USBSV_PDF-A_V2

目次

■本マニュアルの目的

本製品をご利用いただき誠にありがとうございます。本マニュアルは、本製品を正しくお使いいただくための手引きです。必要なときにいつでもご覧いただくために、大切に保管していただきますようお願いいたします。

■ご注意

・本製品の故障・誤作動・不具合・通信不良、停電・落雷などの外的要因、第三者による妨害行為などの要因によって、通信機会を逃したために生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。
・通信内容や保持情報の漏えい、改ざん、破壊などによる経済的・精神的損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。
・ハードウェア、ソフトウェア、外観に関しては、将来予告なく変更されることがあります。
・本製品内部のソフトウェア（ファームウェア）更新ファイル公開を通じた修正や機能追加は、お客様サービスの一環として随時提供しているものです。内容や提供時期に関しての保証は一切ありません。
・輸送費、設定、調整、設置工事などは、お客様負担となります。
・本製品は日本国内仕様であるため、別途定める保証規定は日本国内でのみ有効です。

■著作権等

・本マニュアルに関する著作権は、プラネックスコミュニケーションズ株式会社へ独占的に帰属します。プラネックスコミュニケーションズ株式会社 が事前に承諾している場合を除き、形態及び手段を問わず、本書の記載内容の一部、または全部を転載または複製することを禁じます。
・本マニュアルの作成にあたっては細心の注意を払っておりますが、本マニュアルの記述に誤りや欠落があった場合もプラネックスコミュニケーションズ株式会社はいかなる責任も負わないものとします。
・本マニュアルの記述に関する、不明な点や誤りなどお気づきの点がございましたら、弊社までご連絡ください。
・本マニュアルおよび記載内容は、将来予告なく変更されることがあります。

■商標について

・Microsoft および Windows は、米国 Microsoft® Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
・Windows の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating System です。
・Windows 7 は、Microsoft® Windows® 7 operating system の略です。
・Windows Vista は、Microsoft® Windows® Vista operating system の略です。
・Windows XP は、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および、Microsoft® Windows® XP Professional operating system の略です。

・Macintosh、Mac OS および Apple は、米国 Apple Computer,Inc の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
・Sun、Sun Microsystems、Sun のロゴ、Java、JavaFX は米国およびその他の国における Sun Microsystems, Inc.社またはその子会社の商標または登録商標です。
・その他、記載の会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

安全にご利用いただくために

本製品を設定してご利用いただく前に、次の安全上の注意をお読みください。

- 取扱説明書をお読みになり、記載された注意に従って正しくお使いください。
- 本製品を不安定な場所でご利用にならないでください。
- LAN ポートや USB ポート、AC 電源ポートなどに異物を挿入しないでください。
- 本製品の各ポートに無理な力を加えないでください。
- 本製品には排熱のため、本体に通気用の穴が設けられてありますが、それらを塞がないでください。本体内部が高温になり、部品の損傷や感電などを引き起こす原因となります。
- 必ず本製品に付属した AC アダプタをご使用ください。
- AC アダプタのコードに無理な力を加えないようにご注意ください。人が往来してコードを引っかけないようにしてください。
- 本マニュアルおよび製品本体に表示されている警告や注意の内容に従ってください。
- 湿度の高い場所、直射日光の当たる場所、または暖房器具の近くで本製品を使用しないでください。



機器を接続する際には、USB ポートに損傷を与えないように注意してください。USB デバイスは正しく挿入してください。LAN ポート(RJ-45 コネクタ)に電話線を挿入すると、コネクタが故障する恐れがあります。LAN ポートには RJ-45 コネクタのみを挿入してください。

本製品について

この度は本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本製品は小規模オフィスや家庭内での利用を目的とした、簡易的なファイル共有システムです。お手持ちの USB メモリやハードディスクなどを本製品に接続することで、ネットワークに接続されたパソコン同士でファイルを共有することができます。

MZK-USBSVはコンパクトな本体で、場所を取らずに設置が可能です。また、本体には冷却ファンなどの騒音の発生源となる部品は使用しておりませんので、ファイル共有にUSBメモリをお使いになることで動作音は一切発生せず、家庭内でのご利用時には特に騒音を気にすることなく運用できます。本製品に接続したUSB機器は一般的なNASと同様にWindowsネットワークやFTPでアクセスすることができ、WindowsとMacOS間のファイル交換も簡単に行えます。

本製品の特徴

- USB 2.0 対応の大容量ストレージデバイスが、NAS（Network Attached Storage）デバイスとして利用できるようになります。
- 家庭内 LAN(ホームネットワーク)を用いて AV 機器やパソコン、デジタル家電を接続し、連携して利用することが可能になります。DLNA 対応機器との連携もスムーズに行えます。
- 音楽を複数のパソコンで楽しむことが可能になります。HDD に音楽ファイルを保存しておけば、iTunes をパソコンで起動するだけで自動的に共有プレイリストに登録されるので、パソコンごとに同じ音楽を保存しなくても音楽を共有できます。
- PLAYSTATION®3 や XBOX360 を使えば、ネットワークメディアプレーヤーがなくても映画、動画、音楽を DLNA 非対応のテレビやオーディオ機器で楽しめます。
- NAS アプライアンスをカスタマイズして構築するのに最適です。
- Fast Ethernet（10/100Mbps）に対応しています。
- サイズが小さく軽量なので、ほとんどの場所に設置できます。
- Samba サーバー機能に対応しており、最大 8 ユーザーまで同時アクセスが可能です。
- FTP サーバー機能に対応しており、最大 8 ユーザーまで同時アクセスが可能です。
- フォルダに対してユーザーごとの読み込み専用、または読込み/書込み可能の設定が可能です。
- WEB ブラウザで管理者用パスワードを入力すると、管理者としての作業が可能になります。

仕様

機能の概要

型番	MZK-USBSV
機能	
対応規格	IEEE 802.3 10BASE-T/100BASE-TX, Auto MDI/MDI-X
プロトコル	SMB、FTP、UPnP
最大登録数	FTP ユーザ ：32 Samba ユーザ ：16
ハードウェア仕様	
使用可能ハードディスクドライブ	最大 2TB
フォーマット	FAT32
インターフェース	RJ-45×1
	USB 2.0 ポート×1(タイプ A コネクタ)
LED	Power、USB、10Mbps、100Mbps
AC アダプタ	AC100-240V 50/60Hz
外形寸法	約 46(W) x 24(H) x 66(D) mm
重量	約 43g（本体のみ）
動作時環境	温度：0～40℃
	湿度：0～70%（結露なきこと）
保存時環境	温度：-5～65℃
	湿度：0～80%（結露なきこと）
取得承認規格	CE、FCC Class B、VCCI Class B
その他	
対応 OS	Windows 7(32/64bit)/Vista(32/64bit)/XP 日本語版 Mac OS X 10.6/10.5/10.4
各種設定方法	WEB ブラウザ、専用ユーティリティ
保証期間	1 年間

■注意事項

※本製品はハードディスク等の USB デバイスが別途必要となります。

※本製品に同時にログイン出来るユーザー数は各 8 ユーザーとなります。

※本製品では USB HUB、USB パラレル変換ケーブルを使用した動作は保証しておりません。

※ファイルフォーマット形式は FAT32 となります。本製品に接続した HDD を PC 等に接続してアクセスした場合、4GByte 以上のファイルは正常に扱う事ができません。

※製品仕様は予告無く変更する場合があります。あらかじめご了承ください。 最新情報は、弊社ホームページ（http://www.planex.co.jp）を参照ください。

付属品

同梱されている付属品は次の通りです。パッケージ内容に欠品、または損傷が見受けられる場合には、販売店または弊社までご連絡ください。また、本製品をご送付いただく場合に備えて、外箱および付属品は捨てずに保管してください。

■MZK-USBSV（本製品）
■CD-ROM（ソフトウェア＆マニュアル）
■AC アダプタ
■LAN ケーブル
■安全に関する説明書/保証書

第 1 章

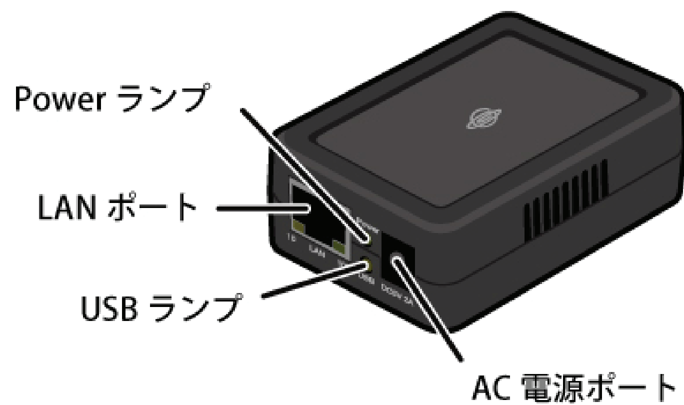
各部の名称とはたらき



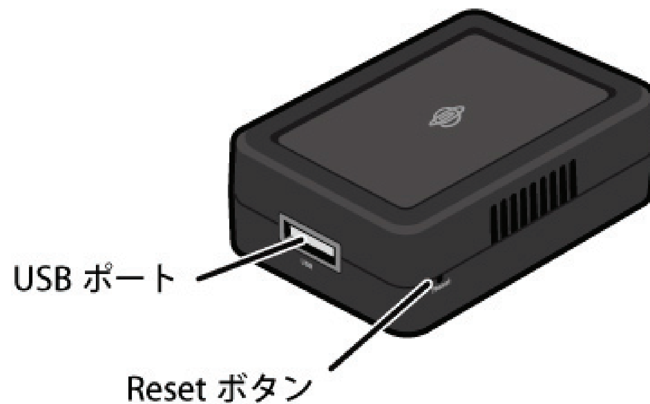
1 各部の名称とはたらき

1.1 各部の名称

本体正面



本体背面



名称	機能説明	名称	機能説明
LAN ポート	LAN ケーブルを接続します。	**AC 電源ポート（5V/2A）**	電源アダプタのコネクタを挿し込みます。
Power ランプ	電源のオン/オフのステータスが確認できます。	**USB ポート**	USB デバイスを接続します。
USB ランプ	USB のディスクへのアクセス有無が確認できます。	**Reset ボタン**	本製品を初期化するとき使います。

			初期化の方法: 1. 本製品の電源がオンになっていることを確認します。 2. Reset ボタンを 5 秒以上押して離します。 3. しばらくそのままお待ちいただき、本製品が再起動したら、初期化の完了です。

1.2 ランプについて

ランプの名称	色	場所	状態
Power ランプ	緑	正面	本製品の電源がオンになると、セルフテストが始まりランプが点滅します。正常に起動すると、ランプは点灯状態になります。
USB ランプ	橙	正面	USB のディスクを接続すると、ランプが点灯します。USB ディスクにアクセスしている間は、ランプが点滅します。

第 2 章

はじめよう



2 はじめよう

2.1 システム要件

対応 OS： Windows 7(32/64bit)/Vista(32/64bit)/XP、Mac OS X10.6/10.5/10.4

必要なハードウェア：

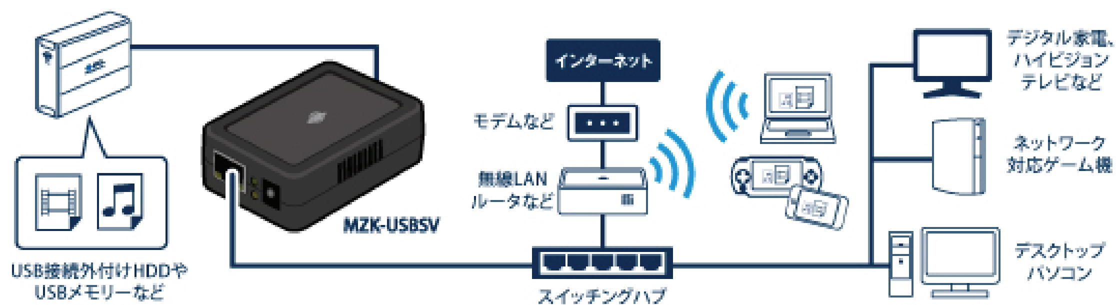
- 10BASE-T/100BASE-TX（Auto MDI/MDI-X 対応）の LAN 環境
- JAVA が動作するパソコン
- USB 2.0 対応の外付けハードディスク
- USB ケーブル

2.2 ハードウェアの設定

2.2.1 本製品を接続する

1. 外付けハードディスクの電源を切ります。
2. 外付けハードディスクの USB ケーブルを本製品の USB ポートに接続します。
3. 外付けハードディスクの電源を入れます。
4. AC アダプタのコードを本製品の AC 電源ポートに接続します。
5. AC アダプタのコードのもう一方を電源コンセントに接続します。
6. 本製品前面の LAN ポートに LAN ケーブルを接続し、ケーブルのもう一方を、電源を入れた無線 LAN ルータやスイッチングハブなどの機器の LAN ポートに接続します。
7. 電源を入れたパソコンの LAN ポートに他の LAN ケーブルを接続し、ケーブルのもう一方を、手順6 で接続した機器の他の LAN ポートに接続します。

■接続例



本製品の接続が完了したら、以下の項目へお進みください。

■Windows 7(32/64bit)/Vista(32/64bit)/XP をお使いのとき

「2.3 ユーティリティのインストール」へお進みください。

■Mac OS X 10.6/10.5/10.4 をお使いのとき

「3.10 Mac をお使いのとき」へお進みください。

2.3 ユーティリティのインストール

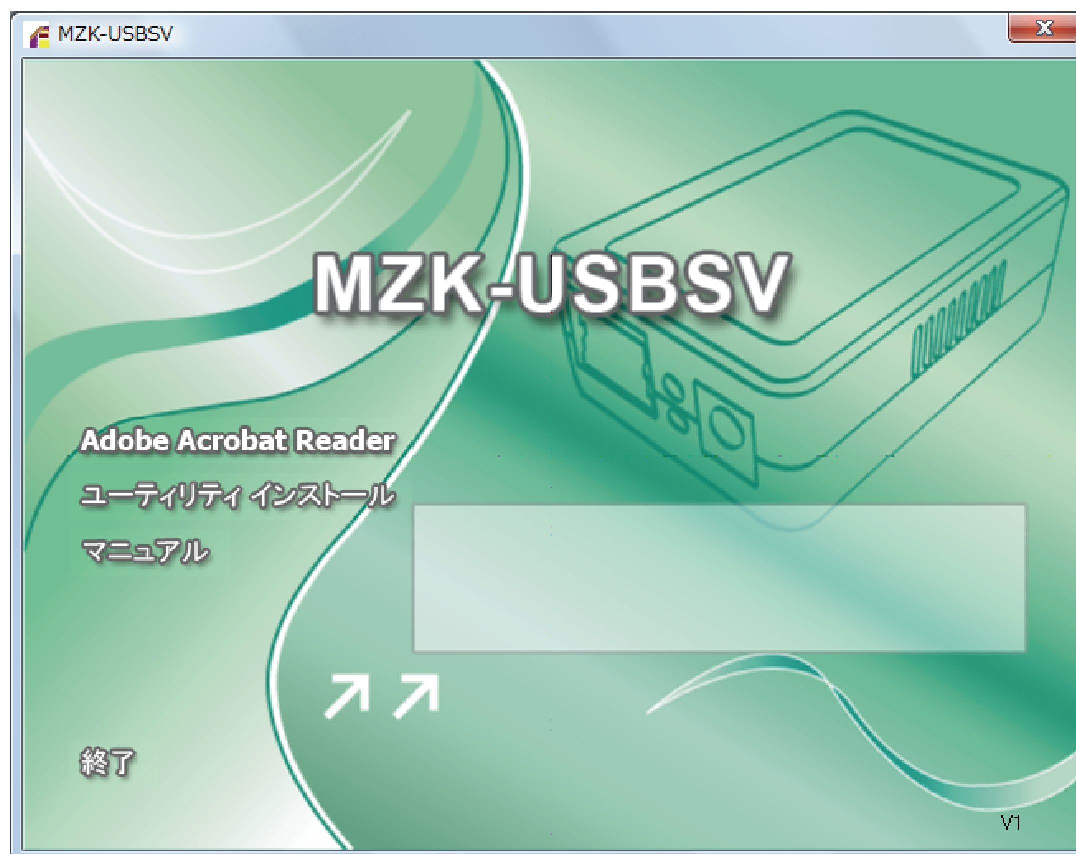
1.パソコンの電源がオンになっていることを確認して、本製品付属の CD-ROM をパソコンの CD/DVD ドライブにセットします。

Windows 7/Vista をお使いのとき

・「自動再生」画面が表示されたときは、「autorun.exe の実行」をクリックします。

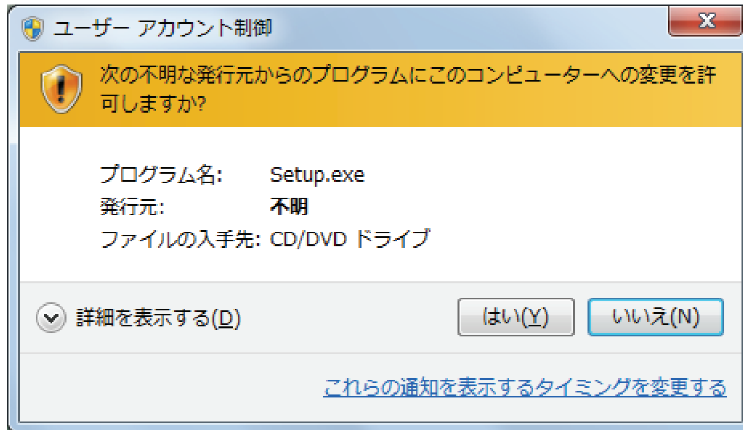


トップ画面が表示されます。「ユーティリティ インストール」をクリックします。



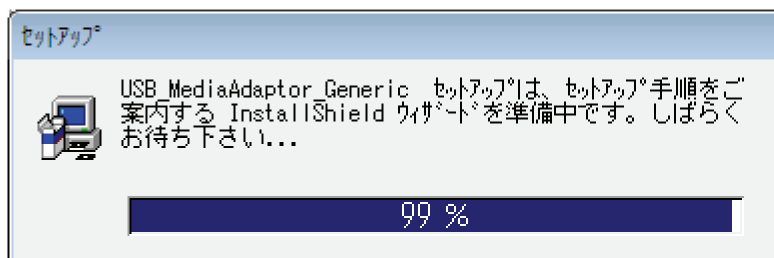
Windows 7/Vista をお使いのとき

・「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたときは、「はい」をクリックします。

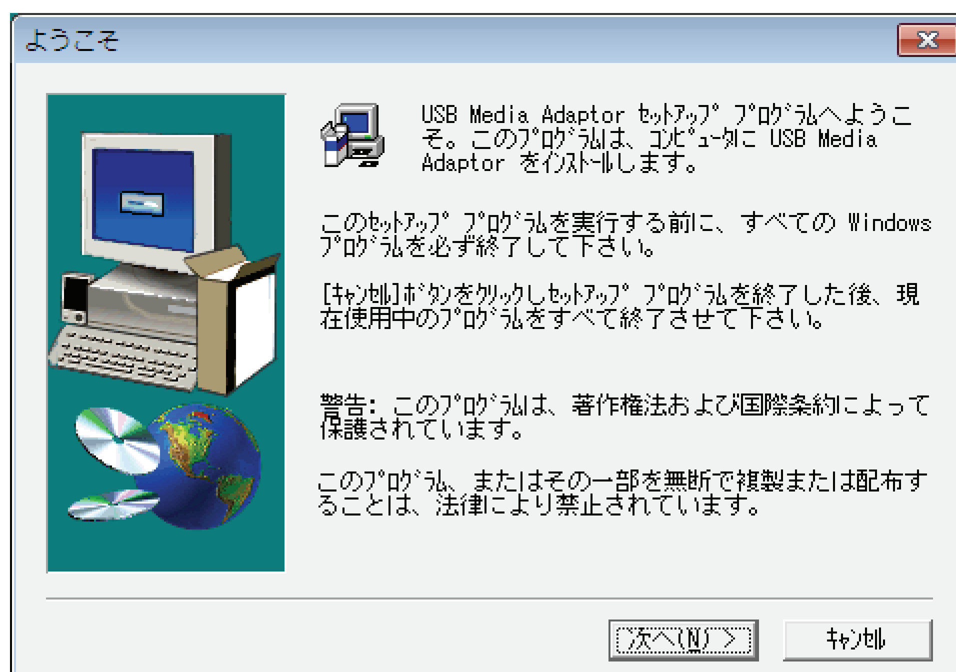


↓

本製品のセットアップ画面が表示されます。



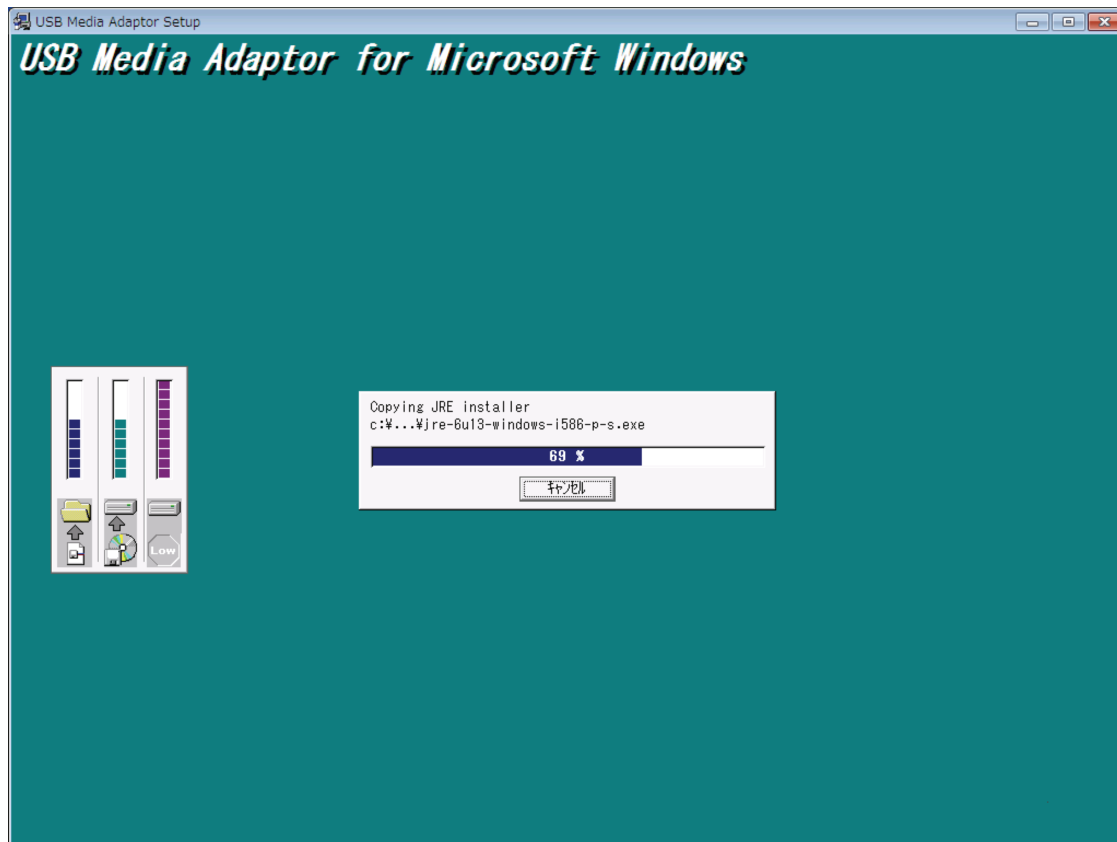
2. [次へ]をクリックします。



3. [参照]をクリックしてインストール先を選択し、[次へ]をクリックします。



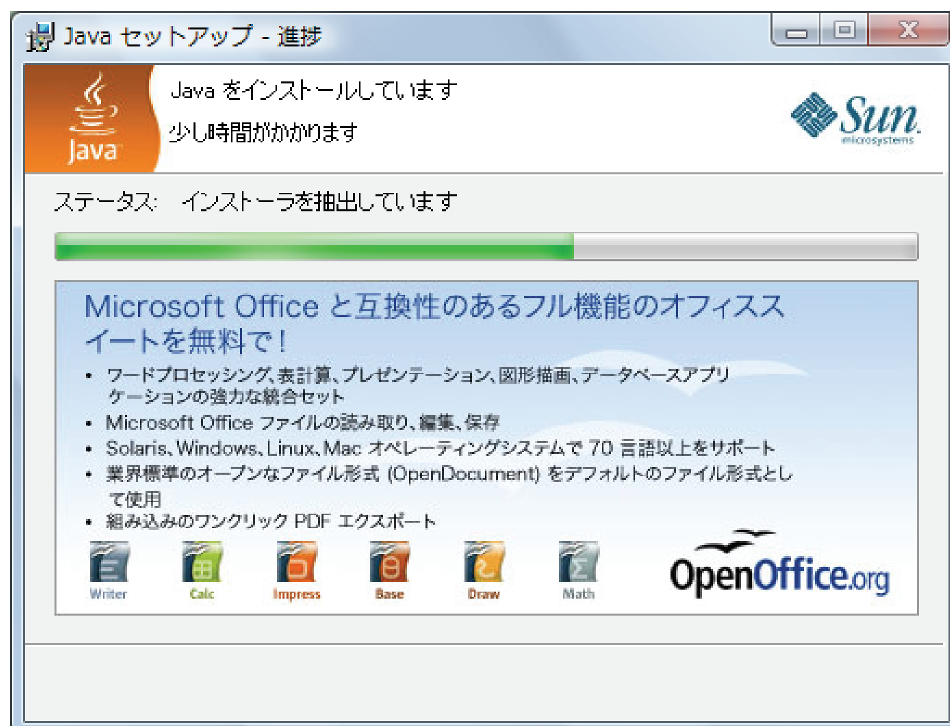
4. インストールが始まります。



5. 以下の画面が表示されたら、[同意する]をクリックします。



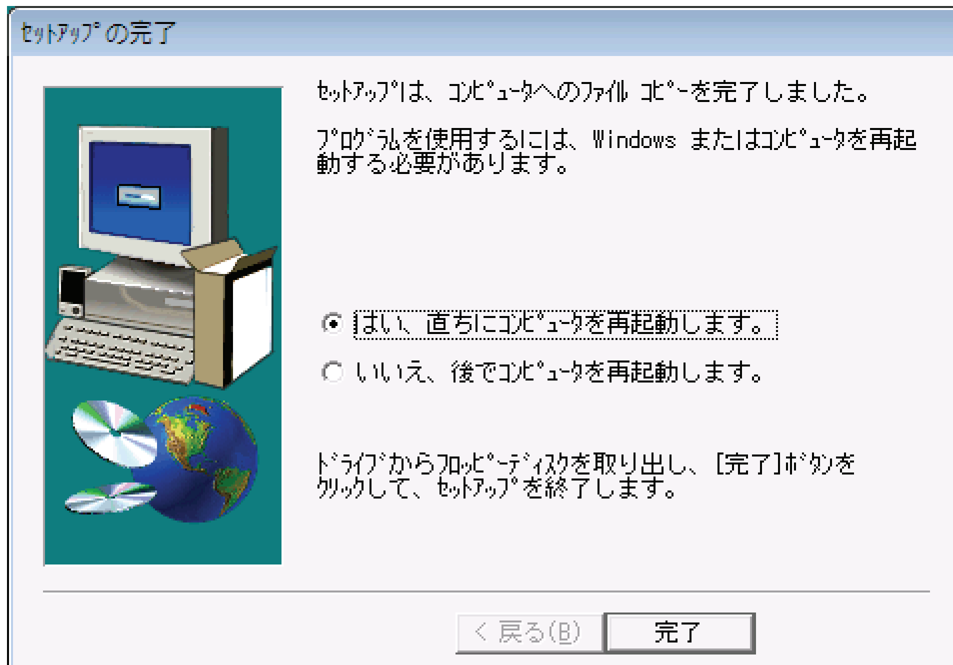
6.Java のインストールが開始されます。



7. Java のインストール完了のウィンドウが表示されたら、[完了]をクリックします。



8. インストールの完了ウィンドウが表示されたら、「はい」を選び、[完了]をクリックします。



第 3 章

デバイスの管理

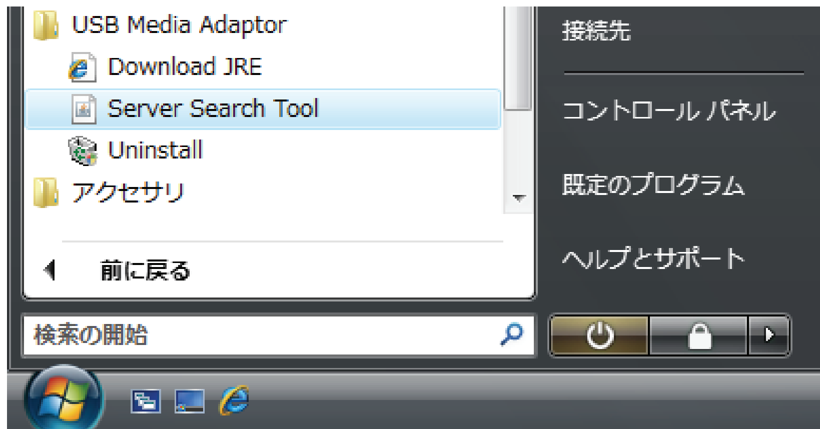


3 デバイスの管理

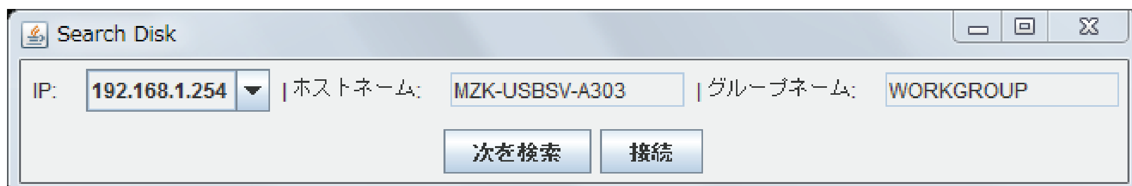
3.1 パソコンを本製品に接続する

1. パソコンで JAVA が動作する環境であることを確認します。JAVA がインストールされていない場合、http://java.com にアクセスし、JAVA をダウンロードしてインストールします。

2. 「スタート」→「すべてのプログラム」→「USB Media Adaptor」をクリックして、「Server Search Tool」をクリックします。



3. ネットワーク環境上にある NAS アダプタの検索を開始します。本製品が検出されたら[接続]をクリックします。



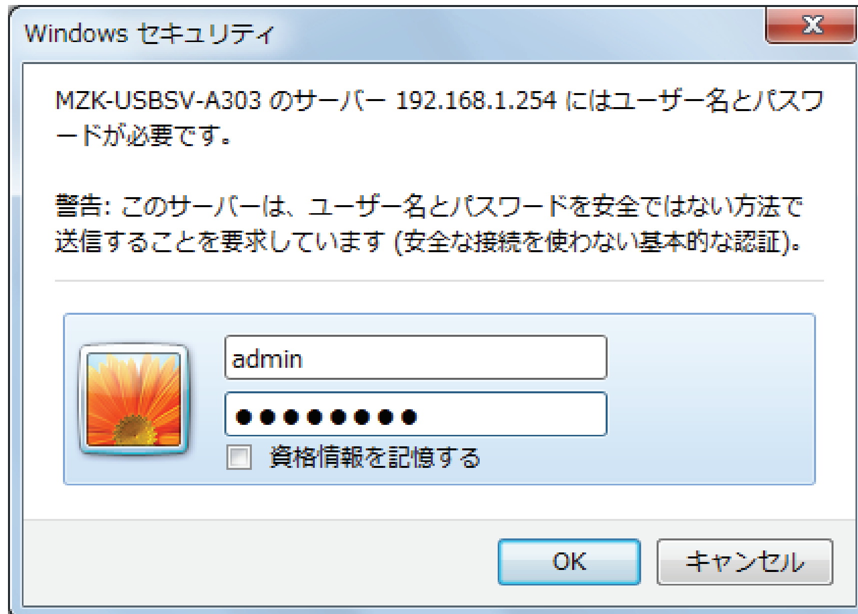
注意:

本製品のIPアドレスの初期設定は、"**192.168.1.254**" です。お使いのパソコンが本製品の「192.168.**1**.～」以外のIP アドレスで利用されているときは、そのままでは本製品にアクセスすることができません。そのため、一時的にパソコンのIP アドレスを「192.168.**1**.～」に設定してください。

初期値のユーザー名とパスワードとして次のように入力し、[OK]をクリックします。

ユーザー名: **admin**

パスワード: **password**



注意:

システムにログインした後に、固定IPアドレスを設定してください。詳細については「3.3 本製品の設定」-「TCP/IP」をご覧ください。

3.2 本製品のステータス

ログイン後、「ステータス」をクリックすると、システムと TCP/IP の現在の情報が表示されます。

システム情報:
システムとディスクの情報が表示されます。システム情報欄には、ホストネーム、グループネーム、ファームウェアバージョン、MAC アドレス、日付などの基本情報が表示されます。

ディスク情報:
外付けハードディスクのディスク ID、空き容量、トータルサイズなどの情報が表示されます。

ネットワークストレージシリーズ

ステータス　設定　サービス　管理　再起動

システム　TCP/IP

本ページはこのネットワークストレージシリーズの一般的なシステム情報を表示します。

システム情報	
ホストネーム	MZK-USBSV-A303
グループネーム	WORKGROUP
ファームウェアバージョン	R3282-1.54b 014J
MACアドレス	[illegible]
日付	2009/01/01 00:47:52 GMT 9:00

ディスク情報	
ディスクID	[illegible]
空き容量	152587 MB free
トータルサイズ	152627 MB

TCP/IP 設定:

現在の TCP/IP の設定内容や情報が表示されます。DHCP の状態、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、プライマリーDNS、セカンダリーDNS の設定が表示されます。

ネットワークストレージシリーズ

ステータス　設定　サービス　管理　再起動

システム　TCP/IP

このページではこのネットワークシリーズの現在のTCP/IP設定を表示します。

TCP/IP設定	
DHCP/BOOTPの使用	OFF
IPアドレス	192.168.1.254
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	192.168.1.1
プライマリーDNS	127.0.0.1
セカンダリーDNS	0.0.0.0

PCi

3.3 外付けハードディスクの準備

外付けハードディスクを接続する前に、次の項目を確認してください。

1. 本製品は、FAT32形式のパーティション以外には対応していません。
2. 外付けハードディスクのファイルシステムが対応形式でないときは、以下の手順を参照して本製品にてフォーマットをしてからご利用ください。

   「サービス」-「ディスクユーティリティ」の[フォーマット]をクリックして、外付けハードディスクをFAT32形式にフォーマットします。



注意:

「ディスクユーティリティ」の[フォーマット]をクリックすると、ハードディスクのデータはすべて消失します。

3. ハードディスクに複数のパーティションがある場合、パーティションの形式によりお使いになれない場合があります。

外付けハードディスクのフォーマット

外付けハードディスクを接続して使用できる状態にする

USB 外付けハードディスクを本製品の USB ポートに接続します。

本製品にログインし、「システム」タブの「ディスク情報」で、外付けハードディスクが認識されているかどうか確認します。

ネットワークストレージシリーズ

ステータス　設定　サービス　管理　再起動

システム　TCP/IP

本ページはこのネットワークストレージシリーズの一般的なシステム情報を表示します。

システム情報

ホストネーム	MZK-USBSV-A303
グループネーム	WORKGROUP
ファームウェアバージョン	R3282-1.54b 014J
MACアドレス	
日付	2009/01/01 00:47:52 GMT 9:00

ディスク情報

ディスクID	
空き容量	152587 MB free
トータルサイズ	152627 MB

PCi

外付けハードディスクのフォーマット

「サービス」-「ディスクユーティリティ」に進み[フォーマット]をクリックします。フォーマットに要する時間は外付けハードディスクの容量に依存しますが、通常 2 ～ 5 分程度です。



フォーマットの完了

フォーマットが完了すると、「フォーマットに成功しました」と表示されます。

3.4 本製品の設定

本製品を設定する前に、次の項目を確認してください。

1. 「グループネーム」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイ」は、利用しているローカルネットワークと同じ設定にする必要があります。設定が異なっている場合、本製品はローカルネットワーク上では認識されません。
2. ホストネームは、「ステータス」画面の「システム」-「ホストネーム」から確認することができます。詳細については、本マニュアル内の「3.2 本製品のステータス」を参照してください。
3. 本製品には、固定 IP アドレスを割り当てることをお奨めします。本製品の IP アドレスは、ローカルネットワークと同じセグメントにする必要があります。例えば、ローカルネットワークの IP アドレスが 192.168.1.x の場合には、本製品の IP アドレスも 192.168.1.x(x の IP アドレスの値は 1 ～ 254 の間)にする必要があります。

システム

「設定」をクリックすると、本製品の設定画面が表示されます。

システム設定

ホストネーム: ローカルネットワークで表示される名前を入力します。
グループネーム: 所属するワークグループを指します。Windows では通常「MSHOME」または「WORKGROUP」です。

ネットワークストレージシリーズ

ステータス 設定 サービス 管理 再起動

システム TCP/IP

この設定ページにてこのネットワークストレージシリーズの一般的な設定を行います

システム設定

ホストネーム MZK-USBSV-A303 (最大15文字まで)
0~9はホストネームの頭文字としては使えません。
グループネーム WORKGROUP (最大15文字まで)

適用

日付設定

日付 2009 /01 /01 (年/月/日)
時間 01 /12 /09 (時/分/秒) PCからの同期

SNTP設定

SNTP 自動 無効
タイムサーバー clock.isc.org
タイムゾーン サマータイム(夏時間), GMT+9

適用

管理者パスワード

アカウント admin
パスワード (最大12文字)
パスワード再入力

適用

PCi

ヒント：*所属するネットワークのワークグループは、お使いのパソコンから確認できます。以下の手順よりご確認ください。*

・Windows XP のとき

1. 「スタート」をクリックし、「マイコンピュータ」を右クリックして、「プロパティ」をクリックします。
2. 「システムのプロパティ」の「コンピュータ名」タブを開いて、ワークグループを確認します。

・Windows7/Vista のとき

1. 「スタート」アイコンをクリックし、「コンピュータ」を右クリックして、「プロパティ」をクリックします。
2. コンピュータの基本的な情報の表示が開いたら、「コンピュータ名、ドメインおよびワークグループの設定」からワークグループを確認します。

TCP/IP

TCP/IP 設定

1. 自動でTCP/IP 設定を取得(DHCP/BOOTP 利用): このオプションを有効にすると、本製品はルータが割り当てた IP アドレスを取得します。ただし、この IP アドレスは時々変更されることがあります。
2. 下記の TCP/IP 設定を利用 :「下記の TCP/IP 設定を利用」をチェックすると、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、プライマリーDNS、セカンダリーDNS を任意に設定できます※。

ネットワークストレージシリーズ

ステータス 設定 サービス 管理 再起動

システム TCP/IP

この設定ページにおいてネットワークストレージのTCP/IP設定を行います。

TCP/IP設定

自動でTCP/IP設定を取得(DHCP/BOOTP利用)

下記のTCP/IP設定を利用

IPアドレス	192.168.1.254
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	192.168.1.1
プライマリーDNS	127.0.0.1
セカンダリーDNS	0.0.0.0

保存＆再起動

PCi

※「サブネットマスク」、「ゲートウェイ」は、お使いのローカルネットワークと同じに設定する必要があります。以下の手順を行ってご確認ください。

・Windows XP のとき

1. 「スタート」→「コントロールパネル」をクリックします。
2. 「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。

※クラシック表示のときは「ネットワーク接続」をダブルクリックし、手順 4 に進みます。

3.　ご使用の「ローカルエリア接続」をダブルクリックします。

4. 「サポート」タブをクリックし、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」を確認します。

・Windows Vista のとき

1. 「スタート」アイコン→「コントロールパネル」をクリックします。

2. 「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックします。

※クラシック表示のときは、「ネットワークと共有センター」をダブルクリックします。

3. 「ネットワーク」から有効なネットワークの「接続」の右の「状態の表示」をクリックします。

4. ［詳細］をクリックし、「IPv4 サブネットマスク」、「IPv4 デフォルトゲートウェイ」を確認します。

・Windows7 のとき

1. 「スタート」アイコン→「コントロールパネル」をクリックします。

2. 「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックします。

※アイコン表示またはクラシック表示のときは、「ネットワークと共有センター」をクリックします。

3. 「アクティブなネットワークの表示」から有効なネットワークの「接続」の右に続くリンクをクリックします。

4. ［詳細］をクリックし、「IPv4 サブネットマスク」、「IPv4 デフォルトゲートウェイ」を確認します。

3.5 FTP サーバーの設定

FTP (File Transfer Protocol)

FTP サーバーサービスを有効にすると、ローカルネットワークとインターネット間でファイルのアップロードやダウンロードが可能になります。

FTP の設定

1. FTP サービス：「有効」を選択して[適用]をクリックすると、FTP サービスが開始されます。FTP サービスを停止するには、「無効」を選択して[適用]をクリックします。
2. FTP ポート番号：初期値は「21」です。1025 ～ 65599 までの数値を入力することも可能です。
3. FTP コードページ：希望する言語を選択し、[適用]をクリックします。

ネットワークストレージシリーズ

ステータス 設定 サービス 管理 再起動

FTPサーバー SMBサーバー メディアサーバー ディスクユーティリティ

FTPサーバー

FTPサービス ◉ 有効 ○ 無効 適用

FTP設定

FTPポート番号 21 (21 or 1025 to 65500) 適用

FTPコードページ Japanese Shift-JIS(cp932) 適用

アカウントリスト 新規 修正 有効/無効 消去

[ユーザー名]	[パスワード]	[アクセス]	[有効/無効]
anonymous	------	RO	ENABLED

PCi

FTP アカウントの作成、修正、有効と無効、消去

FTP アカウントの作成: [新規]をクリックすると、「新 FTP アカウント」ウィンドウが表示されます。アカウント名とパスワードを入力します。「アクセス権」で、作成したアカウントを「読み込み専用」または「読込み/書込み」に設定できます。新たに FTP を作成すると、アカウント名と同じ名前のフォルダが初期フォルダとして作成されます。

FTP アカウントの修正: [修正]をクリックすると、「FTP アカウント修正」ウィンドウが表示されます。ここで選択したアカウントのパスワードや読込み/書込みの属性を変更します。また、フォルダ名も変更することができます。「共有リスト」には、ユーザーに閲覧および書込みを許可するフォルダを登録します。

有効 / 無効: この機能は、管理者が特定のユーザーに対して一時的に FTP サービスを停止する場合に使用します。

消去: FTP ユーザーアカウントを削除します。

3.6 SMB サーバーの設定

SMB サーバー:

SMB サービスを有効にすると、ローカルネットワークでファイルの読み込みや読込み/書込み設定が可能になります



SMB アカウントの作成、修正、有効と無効、消去

SMB アカウントの作成: [新規]をクリックすると、「新 SMB アカウント」ウィンドウが表示されます。アカウント名とパスワードを入力します。また「アクセス権」で、作成したアカウントを「読み込み専用」または「読込み/書込み」に設定できます。新たに SMB を作成すると、アカウント名と同じ名前のフォルダが初期フォルダとして作成されます。



SMB アカウントの修正: [修正]をクリックすると、「SMB アカウント修正」ウィンドウが表示されます。ここで選択したアカウントのパスワードや読込み/書込みの属性を変更します。また、フォルダ名も変更することができます。「共有リスト」には、ユーザーに閲覧および書込みを許可するフォルダを登録します。

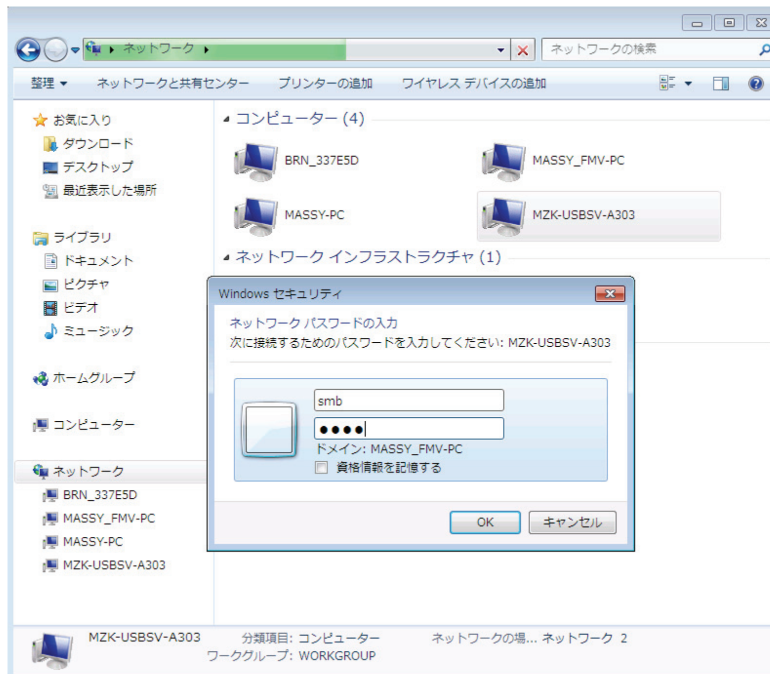
SMBアカウント修正
アカウント名 smb
パスワード ●●●● (最大12文字) 修正
アクセス権 ○ 読み込み専用 ◉ 読込み/書込み
フォルダー一覧
作成 名称変更 消去
PUBLIC
BT
test
smb
chris
-->
<--
共有リスト
戻る
smb

有効 / 無効: この機能は、管理者が特定のユーザーに対して一時的に SMB サービスを停止する場合に使用します。

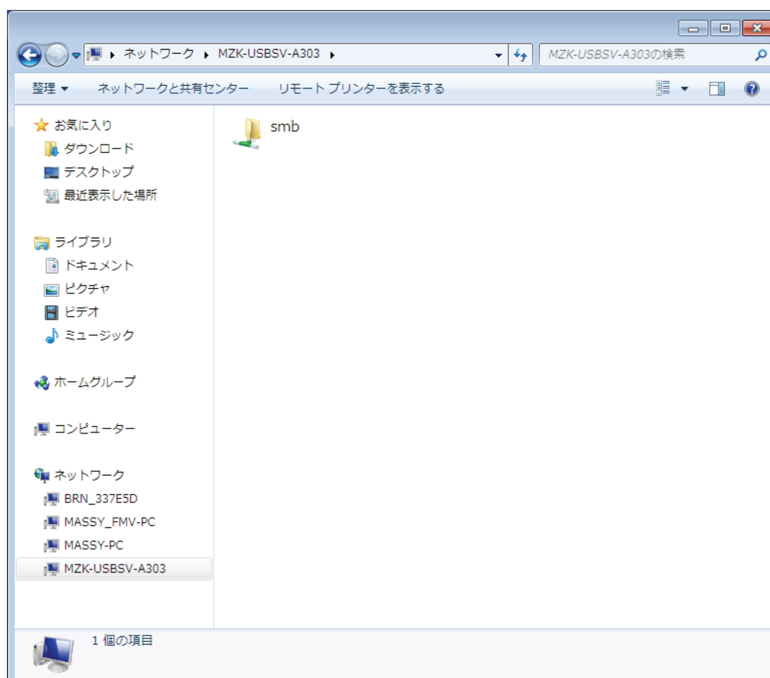
消去: SMB ユーザーアカウントを削除します。

SMB サーバーへのログイン：

SMB のアカウントの設定が終わると、「ネットワーク」(「マイ ネットワーク」)-「ワークグループのコンピューターを表示する」で SMB サーバーが表示されます。サーバー名は、システム情報の「ホストネーム」と同じ名前です。サーバーをダブルクリックすると、ログイン画面が表示されます。ここでアカウント名とパスワードを入力します。



ユーザー名とパスワードが正しければ、ログインでき、利用可能なフォルダが表示されます。



※「ネットワーク」(「マイ ネットワーク」)に SMB サーバーが表示されないときは、以下の手順を行ってください。

1.以下の手順で、任意に本製品に設定したIPアドレスを入力し、検索します。

・Windows 7のとき

「スタート」→「プログラムとファイルの検索」の入力欄に、「¥¥192.168.1.254」を入力し、<Enter>キーを押します。

※「¥¥」の後のIPアドレスは、お客様で設定したIPアドレスを入力してください。

・Windows Vistaのとき

「スタート」→「検索の開始」の入力欄に、「¥¥192.168.1.254」を入力し、<Enter>キーを押します。

※「¥¥」の後のIPアドレスは、お客様で設定したIPアドレスを入力してください。

・Windows XPのとき

「スタート」→「ファイル名を指定して実行」をクリックします。

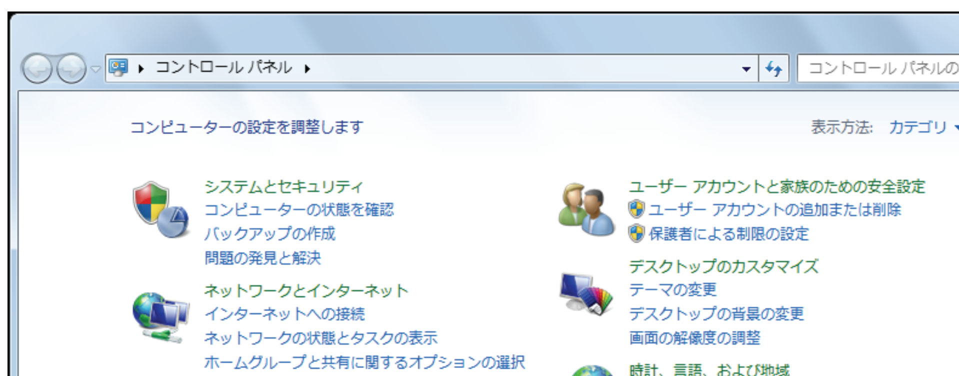
「名前」の入力欄に「¥¥192.168.1.254」を入力し、[OK]をクリックします。

※「¥¥」の後のIPアドレスは、お客様で設定したIPアドレスを入力してください。

2.ご希望のSMBアカウントのアカウント名とパスワードを入力し、[OK]をクリックします。

※Windows 7/Vista をお使いのときで、「ネットワーク」に SMB サーバーが表示されないときは、以下の手順を行った後、もう一度「ネットワーク」をクリックしてください。

1. 「スタート」-「コントロールパネル」-「ネットワークの状態とタスクの表示」の順番にクリックします。



2. 「共有の詳細設定の変更」をクリックして、「ネットワーク探索」と「ファイルとプリンターの共有」で「有効」になっていることを確認してください。

「無効」になっているときは、「ネットワーク探索を有効にする」と「ファイルとプリンターの共有を有効にする」を選んで[変更の保存]をクリックします。

（Windows Vista をお使いのときは、「ネットワーク探索」で「有効」になっていることを確認してください。
「無効」になっているときは、「ネットワーク探索」の右にある[V]をクリックして、「ネットワーク探索を有効にする」を選んで[適用]をクリックします。）

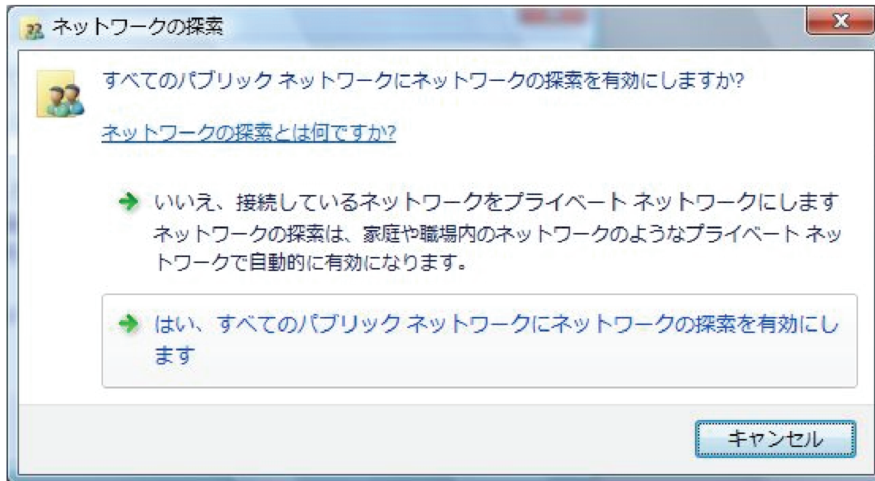


↓

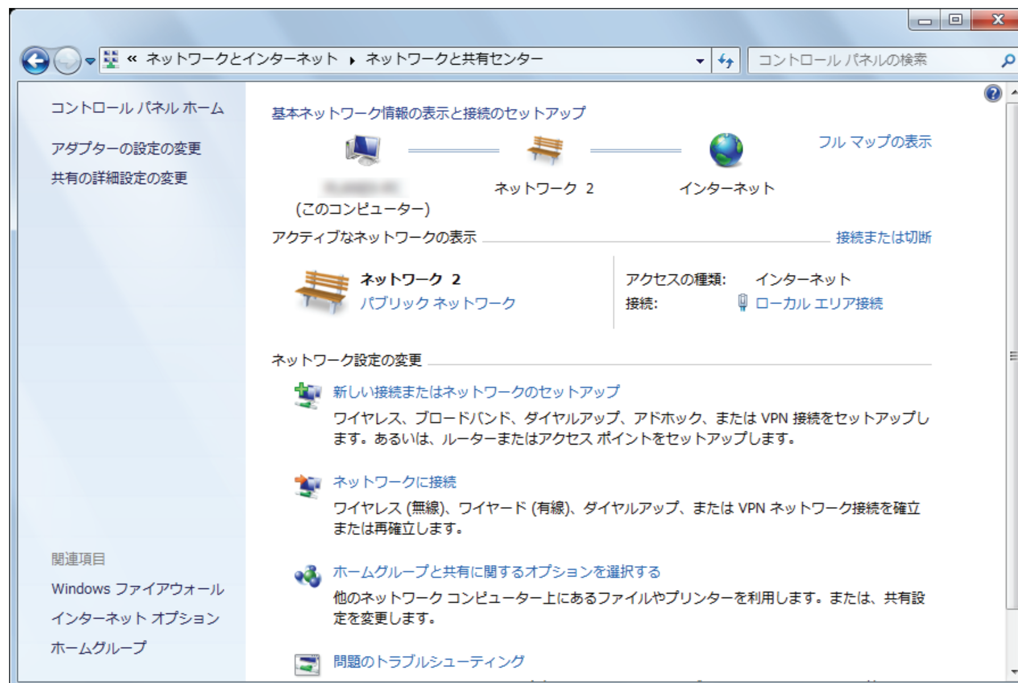


3. Windows Vista をお使いのときは、以下の画面が表示されますので、ご使用の環境に応じて、「いいえ、接続しているネットワークをプライベートネットワークにします」または「はい、すべてのパブリックネットワークにネットワークの探索を有効にします」をクリックします。

※「いいえ～」を選ぶと、「はい～」を選んだときよりも検索がしやすくなりますが、セキュリティが弱くなります。



4. [X]をクリックして画面を閉じます。



3.7 メディアサーバー

本製品は DLNA に対応しており、PS3、XBOX360 で共有フォルダが利用できるようになります。ファイルは種類別に整理できます。本製品には、画像、音楽、映像のカテゴリがあります。

***ヒント**: SMB サービスを使用すると、ファイルをメディアサーバーの特定のカテゴリに保存し、またそこでファイルを選択して、PS3、XBOX360 で共有や再生ができます。*

ネットワークストレージシリーズ

ステータス　設定　サービス　管理　再起動

FTPサーバー　SMBサーバー　メディアサーバー　ディスクユーティリティ

メディアサーバー

共有リスト		画像ディレクトリ
PUBLIC	セット	Disable 無効

共有リスト		音楽ディレクトリ
PUBLIC	セット	Disable 無効

共有リスト		映像ディレクトリ
PUBLIC	セット	Disable 無効

iTunes プレイリストキャッシュ

・ストレージ内に音楽ファイルが500曲以上ある場合はPlaylist cacheを作成することをお勧めします。
・ストレージ内の音楽ファイルの入れ替えを行った場合はPlaylist cacheを再作成してください。

見つかりません　作成　削除

PCI

3.8 ディスクユーティリティ

ディスクユーティリティには、次の 3 つの基本的なディスクツールが備わっています。
ディスクフォーマット / パワー節約モード / ディスクスキャン

ディスクフォーマット: 接続している外付けハードディスクを、FAT 32 にフォーマットします。
パワー節約モード: 接続している外付けハードディスクが節電モードに対応している場合、自動的に節電モードになるように設定できます。
ディスクスキャン: 接続している外付けハードディスクをスキャンして、ファイル、ディレクトリ、ディスクの使用領域などの詳細情報を表示します。また、ハードディスクのエラーも検出します。



3.9 管理: 工場出荷時設定とファームウェアのアップグレード

工場出荷時設定

[OK]をクリックすると、工場出荷時の初期設定が読み込まれ、本製品のすべての設定が初期値に戻ります。



ファームウェアのアップグレード

ファームウェアをパソコンにダウンロードし、[参照]をクリックしてファームウェアのファイルを選択します。正しいファームウェアであることを確認し、[ファームウェアのアップグレード]をクリックするとアップグレードの処理が始まります。ファームウェアのアップグレードには数分の時間を要し、現在の設定は初期値に戻ります。

ネットワークストレージシリーズ

ステータス　設定　サービス　管理　再起動

工場出荷時設定　ファームウェアのアップグレード

このページではファームウェアのアップグレードを行います。
注意:ファームウェアファイルは正しいファイルを選択してください。

ファームウェアのアップグレード

ファームウェアファイルの場所　参照...

ファームウェアのアップグレード



3.10 本製品の再起動

本製品を再起動するには、[OK]をクリックします。



再起動はおよそ 60 秒で完了し、固定 IP アドレスで設定している場合には自動的にステータスのページが表示されます。



3.11 Mac をお使いのとき

Mac をお使いのときは以下の手順を行ってください。

1. アップルコンピュータは、独自のバージョンの Java を提供しています。お使いの Mac に最新バージョンの Java がインストールされていることを確認するには、アップルメニューのソフトウェアアップデート機能（http://support.apple.com/kb/HT1338?viewlocale=ja_JP）を使用します。
2. 付属 CD-ROM 内の“Apple_MacOS_X”フォルダ内にある“SDisk.jar”をダブルクリックすると、ネットワーク環境上にある NAS アダプタの検索を開始し、本製品が検出されたら[接続]をクリックします。



その他の手順（「3.1 パソコンを本製品に接続する」 手順 3 以降）については Windows の手順を参考にしてください。

第4章

トラブルシューティング



4 トラブルシューティング

本製品にアクセスできないときは、最初に以下の内容をご確認ください。

- 他の電気製品を使用して、電源コンセントが正常に動作しているかどうかを確認します。
- すべての接続箇所がしっかりと接続されていることを確認します。

<u>よく寄せられる質問</u>

よく寄せられる質問には次のようなものがあります。

質問	解決策
NAS アダプタの FTP、Samba およびアカウントモードでの制限はありますか？	1. FTP 8 ユーザー / Samba 8 ユーザー（同時には合計 24 セッションまで） 2. FTP サーバー: アカウント（最大 32 ユーザーアカウントまで作成可能。同時に 8 ユーザーアカウントまで接続可能。1 アカウントあたり最大 16 フォルダまで共有可能） 3. Samba サーバー: 共有レベルのセキュリティ（ルートで最大 16 フォルダまで共有可能）
USB メディアアダプタで USB フラッシュドライブは使用できますか？	USB フラッシュドライブでもお使いになれますが、読み書きの速度が十分に得られないときは、FTP の伝送速度の低下を引き起こしたり、システムが不安定になります。
SMB や FTP サーバーでフォルダの作成や共有ができない場合がありますが？	各言語間の問題を回避するために、半角英数字のみを使用してフォルダの作成や共有を行うことをお奨めします。

■サポート情報

プラネックスコミュニケーションズでは、サポートによく寄せられる質問と、その回答を Web 上で公開しています。

URL: http://faq.planex.co.jp/

製品ごとに随時更新されますので、本取扱説明書をご覧になっても解決できなかった場合は、こちらも合わせてご確認ください。